

1. 大変動期の世界（欧米からアジアへ）

いま世界は200年、300年に一度の大転換期にある。アメリカの覇権が衰退しつつあり、アジアおよびグローバルサウスが急速に成長している。客観的データで見よう。

1つは、2100年には世界人口の8割をアジア・アフリカが人口の8割をしめ、米欧が1割まで減少すること。第2は、西暦0年から西暦2030年間の経済力統計のメガ・コンピュータ計算では、欧米の時代はたった200年しかなく、最初の1800年間と21世紀の20年間はインドと中国が世界経済の5割以上を占めていたこと。欧米はアジアの豊かな富を搾取して近代を作った。豊かさは歴史的にアジアにあったこと。3. 今年2023年のゴールドマンサックスのデータによっても、2075年にはグローバルサウスと呼ばれる国々が、トップ8を占める予測、4. コロナ・パンデミックの死者は当初9割、現在も5割超が米欧、現在も死者の5割が米欧であること。5. 先進国は日本も含めて少子高齢化となり、40年後には労働力人口が現在の半分に。近隣国との協調がなければ生きていけない。世界の大きなうねりは、SDGsも含めて、アジア・アフリカとの共存と発展なのだ。

2. 東アジアでの軍事化は東アジア経済圏の壊滅

ウクライナ戦争をきっかけとした、米欧日の軍事化で危険なことは、戦争が起こったら、簡単にやめられないという事実だ。東アジアの安全保障の現状は厳しいものがある。一つは、北朝鮮、北朝鮮の核兵器：弾道ミサイル開発。今一つは台湾と中国をめぐる緊張関係。これらにアメリカが強く反応。こうしたなあ、現実には日本と中国の境界線で、軍事化が進行している。一つには、沖縄諸島に、石垣島だけでも200発の対中ミサイル配備開始、住民の了解も沖縄議会の承認も得ず進行、第2には、日本列島南部、南西諸島と沖縄石垣島に地下司令塔を創設。大分、青森にもミサイルや弾薬庫御配備。また日本全土に来年までに10の地下司令塔。完全に戦前状況だ。

東アジアの安全保障として、アメリカは幾重もの軍事網を敷いている。1) QUAD, 2) QUAD プラス、3) AUKUS、4) Five eyesだ。これらは何十もの「中国封じ込め」体制である。それは「東アジア版 NATO」と呼ばれる。

こうした中、北朝鮮の核施設寧辺(ニョンピョン核施設)が事故で爆破されるだけで、東アジア経済圏は壊滅する。チェルノブイリ30年後の、ノルウェー、スウェーデンの調査によれば、チェルノブイリ原発事故後30年たっても北欧1200km圏の野生のトナカイの肉に棄権レベルの放射線反応が出たという。

北朝鮮ニョンピョンの核格納庫で爆破が起こったと仮定し1200km圏の円を描くと、驚くべきことに、朝鮮半島全域、日本列島ほぼ全域、中国首都から沿海州、ロシア極東がすべて入る。台湾・沖縄で有事が起こっても、中国・韓国・日本の経済圏は30年以上壊滅する。

3. どうしたらよいか？：地域共同と平和

東アジアで絶対に戦争を起こしてはならない。

日本韓国はアジア先進国の一国。G7とG20を繋ぎ、アジアの平和的繁栄を支え協力すること、戦争ではなく、平和と軍縮、発展こそ重要、とデータが教えている。これらについては、東アジア共同体3部作の講演集、羽場久美子編『アジアの地域統合を考える—戦争を避けるために』、『アジアの地域協力—危機をどう乗り切るか』、『アジアの地域共同—未来のために』、および『国際政治から考える東アジア共同体』、『グローバル時代のアジア地域統合』をぜひ参照されたい。

アメリカのいう「民主主義対専制主義」の2極化に載って軍拡することは極めて危険。世界を2つに

分断する。このまま進めば、米中対立ではなく、日本列島が対立の最前線になる。日本列島は地政学的に中国・北朝鮮・ロシアの3核大国を封じ込める3000キロにわたる自然要塞になる。しかし中国・北朝鮮・ロシアを敵に回して、防衛費を増強することは本当に日本の利益だろうか。

3方から飛んでくるミサイルに対して、1億2500万の国民を守れるのか？ 戦争ではなく、アジア大陸との経済共同と発展こそ、平和・安定・繁栄の道ではないのか？

興味深いことに、新興大国中国、インド、ロシアの大国が目指しているのは、一帯一路や、ユーラシア経済統合、インドのSAARC(サーク)や、BIMSTEC(ビムステック)など近隣国との経済共同、インフラ整備である。アジアが目指しているのはRCEP、CPTPPなどの発展と繁栄なのだ。

アジアでは、軍事化ではなく、地域の共同こそが大切だ。マクロレベルでは中国やインドの行うような大きな経済統合、ミクロレベルでは、沖縄や濟州島、台湾など、境界線の地域や島々を、ミサイル基地でなく平和のハブとして再構築することだ。境界線の島々こそ、平和と発展の要である。

21世紀はアジアの時代だ。日中韓は、勤勉さ、技術力、対話力で世界を平和的にリードしよう。

日中韓、沖縄・濟州島に、東アジアの平和のハブを！